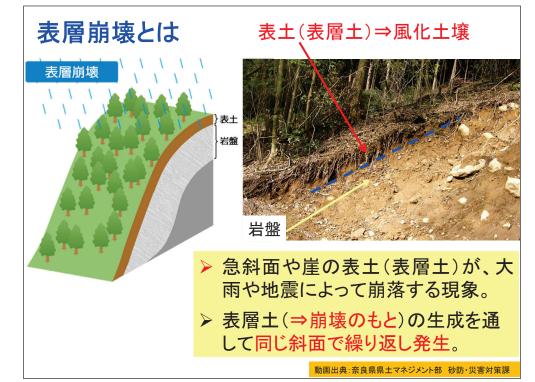


# 土砂災害をもたらす自然現象を知る 表層崩壊 地すべり 土石流 動画出典・豪島県県土マネジシント部 砂防・災害対策課

# 土砂災害のしくみと対策

- ・災害をもたらす自然現象を知る土砂災害発生のしくみ
- ・災害に備える

防災対策(ハード対策、ソフト対策) 土砂災害(特別)警戒区域 防災マップを活用する 過去の災害の教訓を生かす



#### シラス急斜面の表層崩壊(1986年災害 鹿児島市)



- ▶ 1986年7月梅雨末期の記録的豪雨で発生(約7時間雨量:192mm)。
- ▶ 1986年7月災害による一連の死者:33名

# 堆積岩急斜面の表層崩壊(2005年 鹿児島県垂水市)



シラス急斜面の表層崩壊(1993年 旧鹿児島県姶良郡姶良町)



▶ シラス急斜面では、豪雨によって多数の表層崩壊が発生

写真出典:平成5年度教育研究学内特別経費「1993年鹿児島豪雨災害の総合的調査研究」報告書 平成6年3月 1993年豪雨災害鹿児島大学調査研究会

#### 表層崩壊が発生した斜面はどのように変化していくのか?

斜面は剥き出しる

草や木が入る 🛭

木が大きくなる







▶ 時間とともに、木の根や動物によって土がほぐされ、表層土(⇒崩壊のもと)は厚くなる。

豪雨や地震により表層崩壊が発生すると、斜面は崩壊発生直後の状態に戻る。

表層崩壊が発生するための主な条件は?

- ① 急斜面(傾斜30度程度以上)である。
- ② 壊れるものがある(表層土が一定の厚さになることが必要)。
- ③ 崩壊をもたらす規模の豪雨や地震の発生がある。
- ①、②、③の条件が整うと、表層崩壊は*同じ斜面でも繰り返し*発生。

# シラス急斜面での表層土の再生(鹿児島市)



表層土は崩壊により消失



表層土の再生

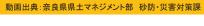
時間とともに表層土(⇒崩壊のもと)は 厚くなり、次の崩壊の準備を整えていく。

シラス急斜面では同じ斜面 で、約100年の周期で表層崩 壊が発生。



崩壊発生後も、表層土が厚くな ることによって、同じ斜面で表層 崩壊が繰り返し発生。

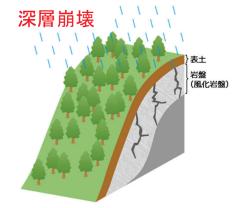
# 土石流とは

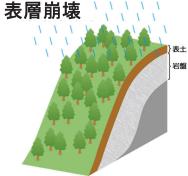




- 山腹や川底の石や土砂が水と一体となり流出。
- 時速50km以上になることもあり、破壊力が非常に大きい

# 深層崩壊とは





- 地下深部の風化部で起こる斜面の崩壊。
- ▶ 表層崩壊にくらべ希にしか起きないが、規模が大きいた め大きな災害となる。

# 深層崩壊の発生(1993年 旧鹿児島県日置郡日吉町)



- ▶ 雨が降り止んで、しばらくたって深層崩壊が発生。
- 深層崩壊の幅約95m、長さ約150m、平均崩壊深約15~20m。死者2名。

#### 深層崩壊の発生(2003年災害 旧鹿児島県伊佐郡菱刈町)

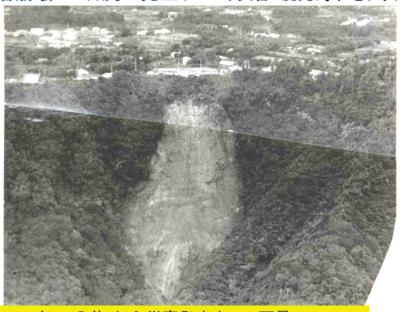


- ▶ 降り始めから崩壊発生までの雨量は約400mm。
- ▶ 崩壊面積約840m²、平均崩壊深約4m。死者:2名。 環境出典 康児島県資料

# 崩壊・土石流の発生(1993年災害 鹿児島市竜ケ水)



#### 深層崩壊・土石流の発生(1977年災害 鹿児島市竜ケ水)



- ▶ 1977年 の入梅 から災害発生までの雨量:538.0mm
- ▶ 崩壊面積約5000m²。死者:9名。

# 防災対策

# ハード対策

防災施設の整備による対策

砂防法、森林法 地すべり等防止法

急傾斜地法(急傾斜地の崩壊による災害の 防止に関する法律

# ソフト対策

警戒避難体制の整備 適切な開発

による対策

土砂災害防止法(土砂災害警戒区域等 における土砂災害防止対策等の推進に関する法律)





こちらは、第48回鹿大防災セミナー参加者用の配布資料となります。配布資料は、防災セミナー以外の目的に使用することを禁止します。配布資料の内容、テキスト、画像等の転載・引用を一切禁止します。 4/7

# ハード対策





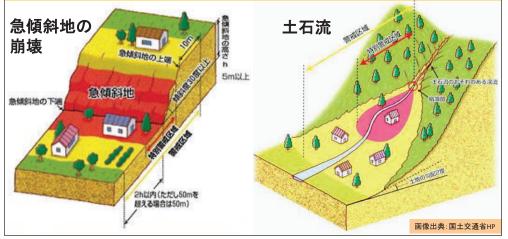




# 土砂災害のおそれのある場所を知っておく

土砂災害防止法(平成12年制定)に基づいて危険区域が指定

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)



# 防災施設の整備(土砂災害への対策)

- 防災施設の整備には多くの費用と時間が必要。
- ・ 鹿児島県の防災施設の<mark>整備率は約37%。</mark>

(4,952の要整備箇所数に対する割合)





写真出典: 鹿児島県資料

- 防災施設の整備により地域の防災力は増加する。
- しかし、施設が整備されていても、雨の規模によっては、 施設の能力を超える規模の災害が発生することがある。

#### 警戒区域では



土砂災害警戒区域(イエローソー)

警戒避難体制の整備

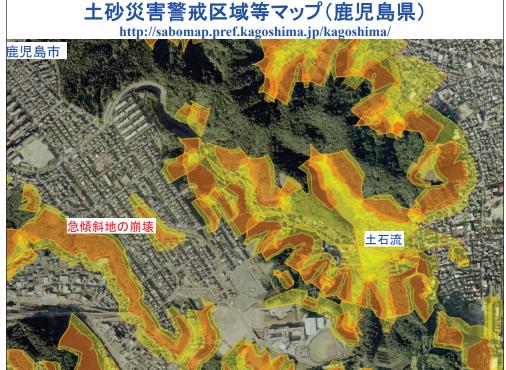
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

特定の開発行為に対する許可制 建築物の構造規制 なども図られる。

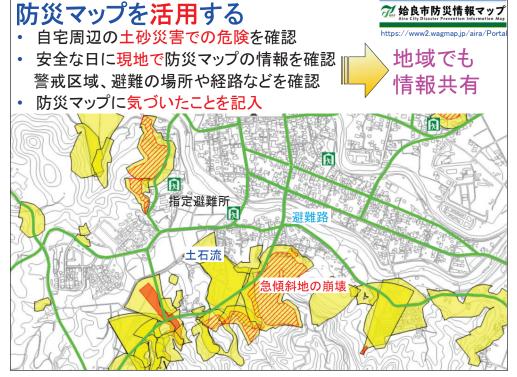


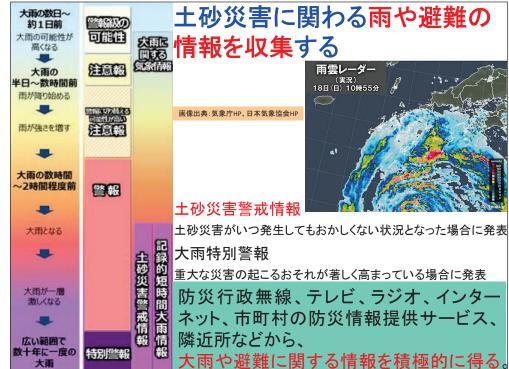
画像出典: 国土交通省HP

こちらは、第48回鹿大防災セミナー参加者用の配布資料となります。配布資料は、防災セミナー以外の目的に使用することを禁止します。配布資料の内容、テキスト、画像等の転載・引用を一切禁止します。 5/7









# 過去の災害の教訓を生かす

- ▶土砂災害を防ぐために、人命を犠牲にしないためには、過去の災害の教訓を生かすことが重要である。
- ▶次に、過去に発生した土砂災害の事例より得られた教訓についてお話しする。

#### 深層崩壊・土石流の発生(1997年 出水市針原川)



# 災害の教訓

- ▶防災対策が講じられていても、その能力を超える規模の災害が発生することがある。
- ▶雨の規模によっては、予想もつかないような形態の 災害や規模の大きな災害 が発生することがある。
- ▶ 崩壊最大幅90m、最大崩壊長220m、最大崩壊深28m。
- ▶ 針原川は、砂防計画に従い、当面1基の砂防ダムの建設開始。災害直前には砂防ダム工事がほぼ完了。

#### 深層崩壊の発生(1993年 旧鹿児島県日置郡日吉町)



#### 災害の教訓

- ▶雨が降り止んでも災害が発生することがある。
- ▶雨の大きさによっては、 予想もつかないような 規模の大災害が発生 することがある。
- ➤ 深層崩壊の幅約95m、長さ約150m、平均崩壊深約15~20m。➤ 雨が降り止んで、しばらくたって深層崩壊が発生。

写直出典:平成5年度教育研究学内特別経費[1993年度児島豪雨災害の総合的調査研究|報告書 平成6年3月 1993年豪雨災害度児島大学調査研究会

# 土砂災害を防ぐために

### 災害をもたらす自然現象を知る

・ 災害発生のしくみを理解する。

#### 災害に備える

- 自分の地域では、どんな災害で、被害がどこまで 及ぶのか?過去の災害の教訓を生かす。
- 防災情報は飛躍的に向上、行政の防災情報発信は迅速化。⇒これに対して、住民側が積極的に情報を得て、迅速な行動に移すことが出来るか?

# 自分や大切な方の命を守るためには

• 正しい知識を持つ。正しく恐れる。正しく防ぐ。